Rest API PUTを実装する ~ @PutMapping

商品情報を更新する場合は、HTTP PUTを利用した、更新対象のIDを特定するAPIを作成します。Body部にjsonデータを設定してデータを送信します。Controllerクラスには、@PutMappingアノテーションでAPIのURLを設定します。また、@RequestBodyアノテーションでjson形式で受け取り、@PathVariableアノテーションで指定された更新キーを取得します。

PUT: 商品情報を更新

http://localhost:8080/items/10001

```
Request Body (json形式で設定)
{
    "itemId":"10001",
    "itemName":"サファイアリング",
    "itemCategory":"ジュエリ"
```

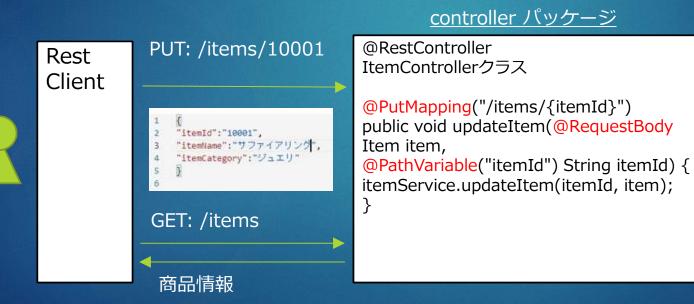
Controllerクラス

[@PutMapping]

- ✓ HTTP PUTリクエスト用のアノテーション
- √ value属性 (省略可)にURLを指定

実機演習の流れ

- ■前回の演習で作成したRest APIを拡張します。以下①~④の手順で演習を行います。
- ① サービスに商品更新処理を追加
- ② RestControllerクラスに商品更新Rest API (PUT)を追加
- ③ Clientからデータを更新
- ④ 更新された事をRest API GETを利用して確認



service パッケージ

@Service ItemServiceクラス

use public void updateItem(String itemId, Item item)